



前に生徒が詰めかけ一気に盛り上がるステージ  
118日、平塚市東中原の大野中学校

# 手話知って活躍を

## 生徒の反応励みに

ダンスに手話を取り入れたパフォーマンスで知られる4人グループ「HAND SIGN」(ハンドサイン)が、県内の中学校で展開してきた「50校公演」が8日、平塚市立大野中学校(同市東中原1丁目)で達成した。「これから社会で活躍する若者に、手話という一つの言語を知ってもらいたい」と始めてから2年余り。リーダーのTATSUこと中野達朗さんは「もう51校目が決まっている。切りよく100校を目指したい」と思いを新たにしていた。(田崎 基)

この日、大野中の体育館は熱狂に包まれた。コントが披露された前半は冷やかな失笑が漏れるも、後半は一転。米ニューヨークでも高く評価された本格的なダンスが始まると、一気にボルテージが高まった。終盤、席を立った生徒たちがステージ前へ詰めかけると会場は一体感で包まれ、ダンスと重低音響く音楽に身を重ねていた。

生徒の反応を確かめるようにやっていった。1校決まり、見てもらってまた1校。一つ一つ丁寧にやっていった結果が50校になって本当にうれしいと話す。生徒たちからのアンケート結果にも勇気づけられた。「手話なんて眠くなりそうと思っただけ、実際見たら体を動かして楽しかったという生徒も少なくない。それが僕らの一番やりたいこと。まず知って、一つでも覚えて、興味をもってもらいたい」この日も、汗だくになり600人余りの全校生徒に向け思いを伝えた。

1年生の阿藤輝太郎君(13)は「ダンスとリズムに手話を合わせられるなんてびっくりに。ありがとう』『うれしい』『楽しい』という手話も覚えた。興味がわいた」と話していた。

ハンドサインは公私立を問わず県内中学校の公演依頼を募集する。問い合わせは事務所0463(74)4621。

## 「ハンドサイン」50校公演達成

動画はウェブサイト「カナコ」に

# 手話ダンス50校で舞台

## 4人組「ハンドサイン」達成



手話を取り入れてダンスする4人組の男性。パフォーマンス集団「HANDSIGN(ハンドサイン)」が8日、目標としていた50校目の公演を平塚市立大野中学校で行った。

スピーカーや照明機材が置かれライブ会場に様変わりした同校の体育館で、メンバーが「ついに50校目となりました」と叫ぶと、約650人の生徒たちも歓声で応えた。

メンバーは、日本三大七夕まつりの一つとして知られる平塚市の「湘南ひらつか七夕まつり」を歌った曲に合わせて、手話を交えた独自の振り付けを紹介。「祭り」や「楽しい」などの手

▲50校公演を達成し、生徒と一緒に「love you」の手話をするハンドサインのメンバー(平塚市立大野中学校)

話の動作をしながら一緒に踊った。同校1年の立花真美さん(13)は「耳が聞こえない人でも手話やダンスで一つになれることを知った。手話をするのは初めてで、早速使ってみたい」と笑顔を見せた。

ハンドサインは、平塚市在住のリーダー・TATSUさんが、難聴者が登場するテレビドラマをきっかけに手話に興味を持ち、2005年に結成した。コミュニケーションの幅が広がる手話の魅力を伝えようと、